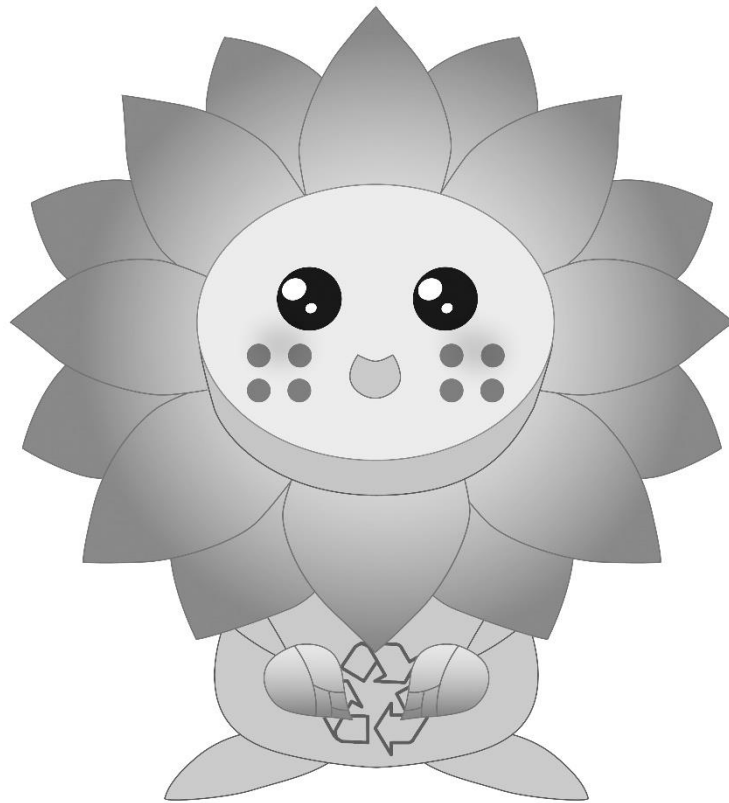


ごみ量の推移と 第2次町田市一般廃棄物資源化 基本計画の達成状況



2024 年 7 月

町田市環境資源部

1. 総ごみ量及び資源化量の推移

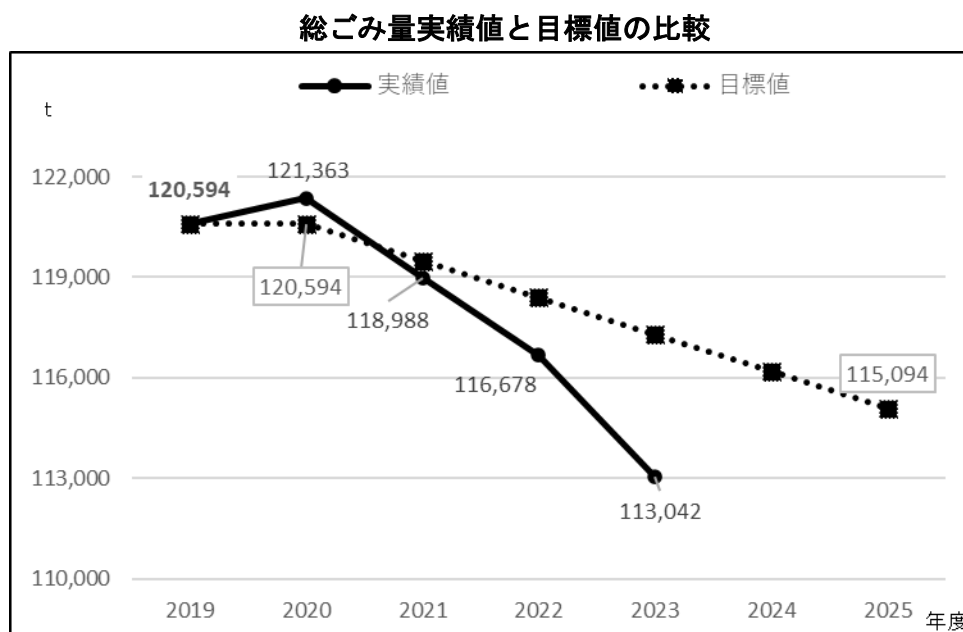
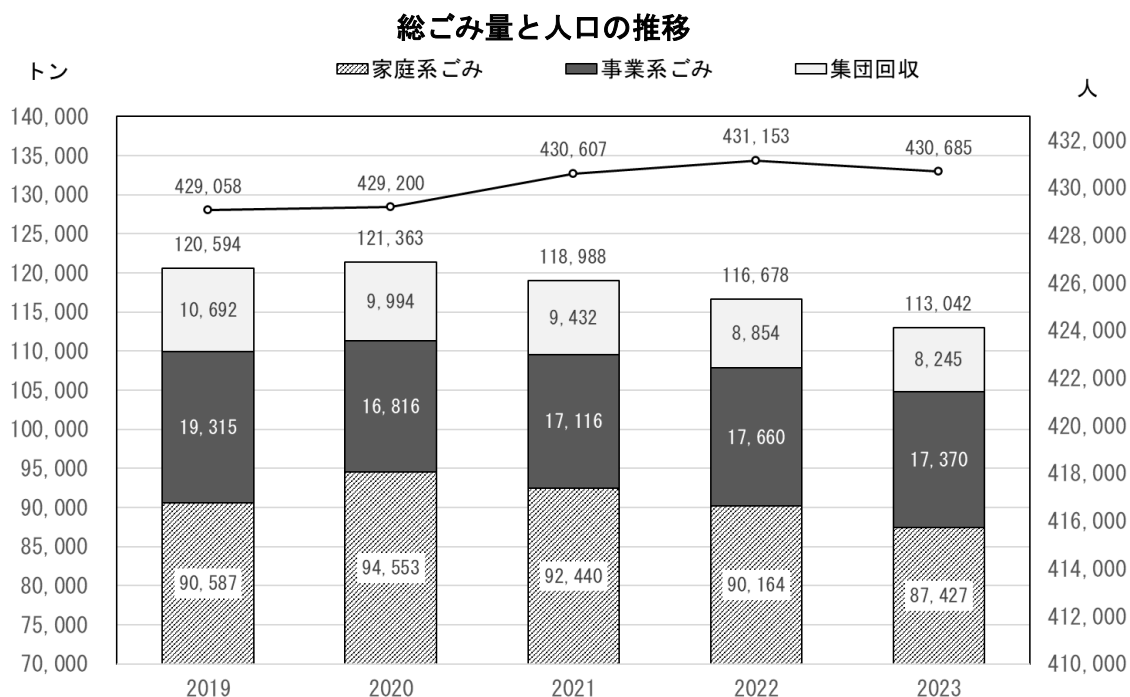
(1) 総ごみ量（資源を含む、家庭系・事業系の合計）

- ・総ごみ量は、2021年度以降減少が続いています。
- ・2023年度の人口（10月1日時点）は2019年度と比較して0.4%増加しています。

（総ごみ量の推移）

2019年度→2023年度 －7,552 t（▲6.3%）

2022年度→2023年度 －3,636 t（▲3.1%）



資源とごみの内訳

単位:t/年

年度				2019	2020	2021	2022	2023	2019年度比
人口(10月1日時点) 単位:人				429,058	429,200	430,607	431,153	430,685	0.4%
世帯数(10月1日時点)				195,643	197,711	200,182	205,236	206,896	5.8%
収集・持込量	ごみ	燃やせるごみ	収集分	63,665	65,795	64,086	62,802	60,908	-4.3%
			持込分	705	601	588	652	638	-9.5%
			事業系持込分	19,315	16,816	17,116	17,660	17,370	-10.1%
			計	83,685	83,212	81,790	81,114	78,916	-5.7%
		燃やせないごみ	収集分	7,209	7,995	7,418	6,810	6,677	-7.4%
			持込分	49	75	39	36	35	-28.6%
			計	7,258	8,070	7,457	6,846	6,712	-7.5%
		粗大	収集分	1,586	1,576	1,595	1,541	1,575	-0.7%
			持込分	1,647	1,705	1,903	1,978	1,889	14.7%
			計	3,233	3,281	3,498	3,519	3,464	7.1%
		有害		133	156	143	156	150	12.8%
		ごみ量小計			94,309	94,719	92,888	91,635	89,242
	資源	収集分	古紙 ^{※1}	7,681	8,127	7,929	7,847	7,420	-3.4%
			古着・古布	1,099	1,296	1,200	1,114	1,066	-3.0%
			発泡トレイ ^{※2}	8	8	7	13	12	50.0%
			紙パック ^{※2}	15	15	14	15	15	0.0%
			小型家電 ^{※2}	6	7	9	10	11	83.3%
			ペットボトル	1,048	1,094	1,144	1,182	1,203	14.8%
			容器包装プラスチック ^{※3}	408	429	828	849	845	107.1%
			剪定枝	574	619	491	473	475	-17.2%
			ビン	2,721	2,914	2,774	2,664	2,555	-6.1%
			カン	933	1,058	1,048	995	950	1.8%
			計	14,493	15,567	15,444	15,162	14,552	0.4%
		持込分	リサイクル広場まちだ	107	89	86	96	99	-7.5%
			剪定枝	993	994	1,138	931	904	-9.0%
			計	1,100	1,083	1,224	1,027	1,003	-8.8%
	資源量小計			15,593	16,650	16,668	16,189	15,555	-0.2%
	合計(総ごみ量)			109,902	111,369	109,556	107,824	104,797	-4.6%
	集団回収量	回収団体数 単位:団体	371	353	340	331	317	-14.6%	
		合計	10,692	9,994	9,432	8,854	8,245	-22.9%	
	総合計(総ごみ量+集団回収量)			120,594	121,363	118,988	116,678	113,042	-6.3%

※1 古紙の内訳は、集積所に排出される新聞、段ボール、雑誌・雑紙、紙パック。

※2 発泡トレイ・紙パック・小型家電は、拠点回収したもの。

※3 容器包装プラスチックは2020年度まで資源化量としていたが、2021年度からは収集量(不適物も含む)としている。

◆ごみ量の傾向◆

- ・家庭系の燃やせるごみ・燃やせないごみについて、2020年度をピークに減少が続いています。
- ・事業系の燃やせるごみについて、2020年度から増加傾向にありましたが、2023年度は前年度と比較して290t減少しました。
- ・古紙・古着・ビン・カンなどは2020年度以降減少が続いていますが、ペットボトルは増加が続いています。
- ・古紙について、2022年度の収集量と2023年度の収集量を比較すると、427t減少し

ています。雑誌・雑紙が 341t、段ボールが 91t 減少しています。新聞と紙パックは微増でした。

- ・ 集団回収（ビン、カン、古紙、古着・古布）量について、2022 年度と 2023 年度の収集量を比較すると、全ての項目で収集量が減少しています。団体数も減少が続いています。

（２）資源化量

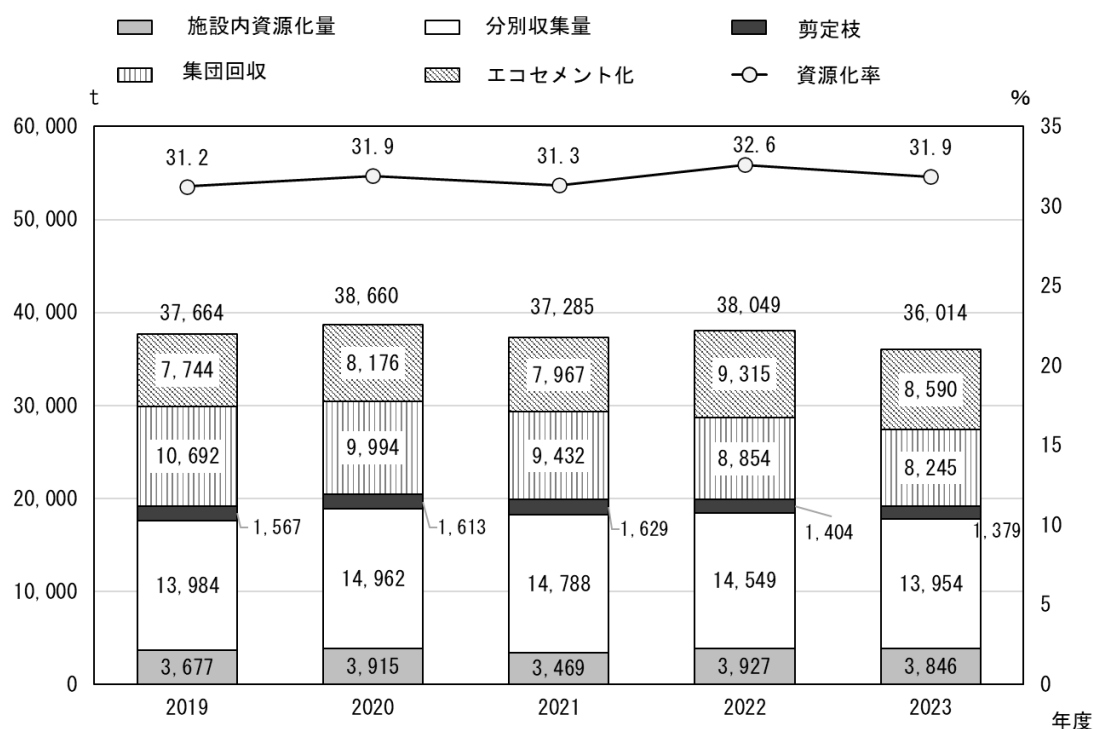
- ・ 資源化量は、2022 年度と比較して減少しています。

（資源化量の推移）

2019 年度→2023 年度 -1,650 t （▲4.4%）

2022 年度→2023 年度 -2,035 t （▲5.4%）

資源化量の推移



※1 集団回収とは町内会・自治会、子ども会等が自主的に行っている資源回収

※2 資源化率 = 総資源化量合計（エコセメントと集団回収を含む） ÷ 総ごみ量

◆主な増減要因◆

- ・ 施設内での資源化について、2023 年 11 月に発生した町田市バイオエネルギーセンターの火災の影響でバイオガス化施設が停止したため、生ごみのバイオガス化が 2022 年度と比較して 414 t（38.9%）減少しました。
- ・ エコセメント化量について、焼却量が減少したことで焼却残さが減少したため、エコセメント化量も減少しています。

2. 第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画（2021年3月策定）の進捗状況

（1）目標に対する進捗状況

①【全体目標1】「1人1日当たりのごみ排出量」を「2019年度比7%削減」する

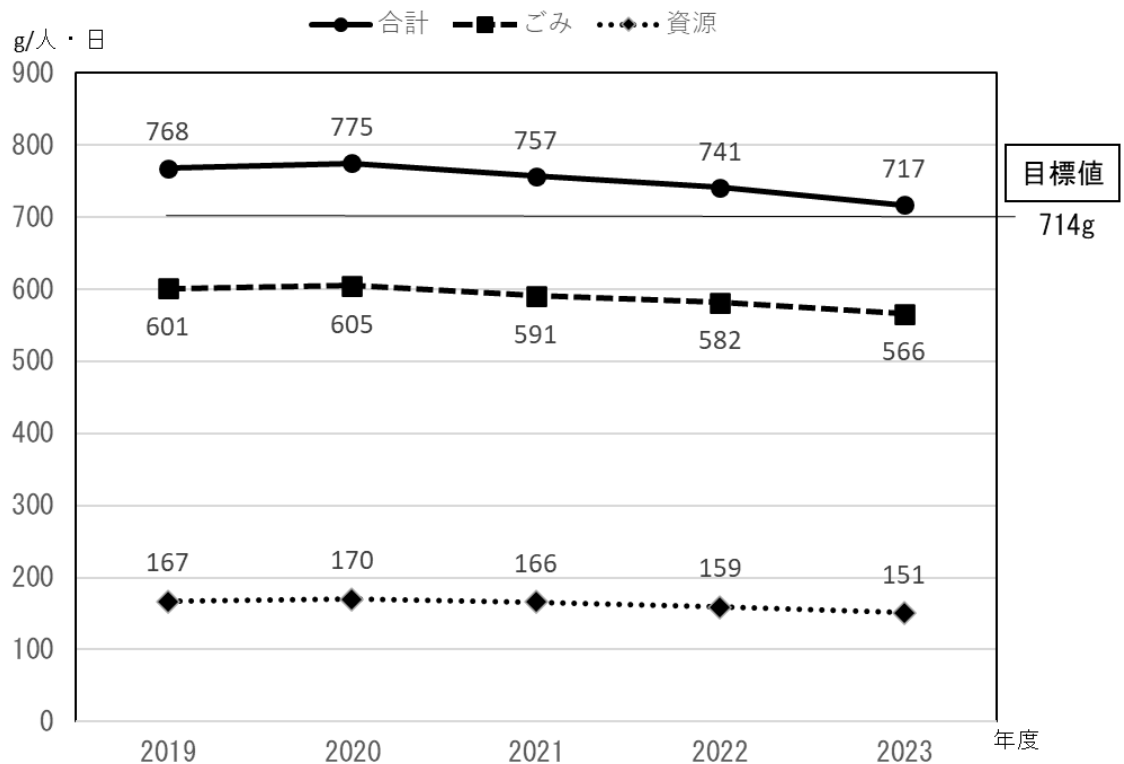
・発生抑制を重視し、1人1日当たりのごみ量（資源を含む）を2030年度までに714g/人・日に削減することを目標としています。

（1人1日当たりのごみ排出量の推移）

2019年度→2023年度 －51g（▲6.6%）

2022年度→2023年度 －24g（▲3.2%）

1人1日当たりのごみ排出量の推移



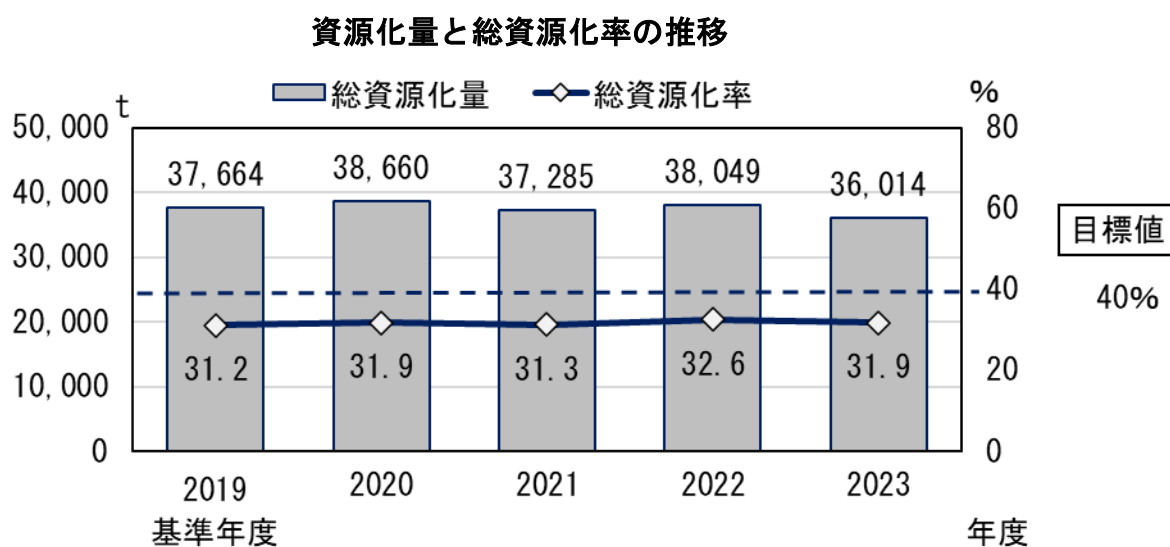
②【全体目標 2】「総資源化率」を「40%」まで高める

・生ごみのバイオガス化施設でのメタン化をはじめとした総資源化率の向上に向けた取組を進めることにより、2030 年度までに 40%まで高めることを目標としています。

(資源化率（エコセメント・集団回収を含む）の推移)

2019 年度→2023 年度 +0.7 ポイント

2022 年度→2023 年度 -0.7 ポイント



◆主な増減要因◆

- ・分別収集量・集団回収量・施設内資源化・剪定枝・エコセメント化量のすべてが 2022 年度から減少しています。
- ・施設内資源化について、2023 年 11 月に発生した町田市バイオエネルギーセンターの火災の影響でバイオガス化施設が停止したため、生ごみのバイオガス化が 2022 年度と比較して 414 t（38.9%）減少しました。
- ・ごみ量も減少しているため、資源化率は、ほぼ横ばいとなっています。

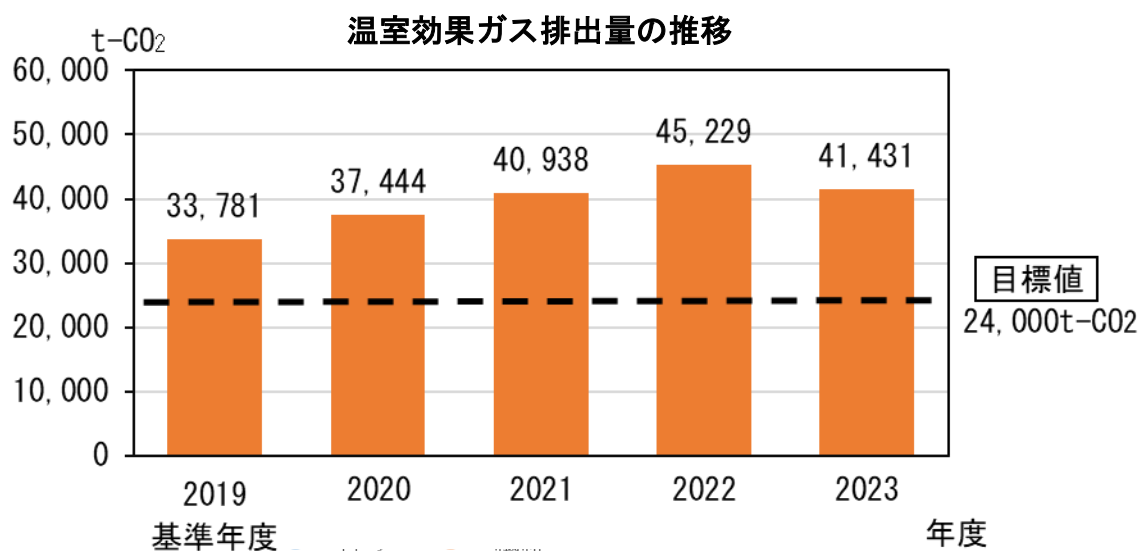
③【全体目標3】「温室効果ガス排出量」を「2019年度比30%削減」する

・発生抑制及びプラスチックの資源化を推進することで、ごみの焼却による温室効果ガス排出量を2030年度までに24,000t-CO₂へ削減することを目標としています。

(温室効果ガス排出量の推移)

2019年度→2023年度 +7,650t-CO₂ (+22.6%)

2022年度→2023年度 -3,798t-CO₂ (▲8.4%)



◆主な増減要因◆

- ・ごみとして処理する量が減少したことに伴い、焼却量が減少しています。
- ・焼却量に含まれる繊維類の割合が、2022年度と比較して減少しています。

3. 第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン（2021年3月策定）の進捗状況

基本計画を具体的に進めていくために、2021年に「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン」を策定しています。

（1）目標値に対する進捗状況

①「生ごみ」の量

（生ごみの推移）

2019年度→2023年度 -2,389 t（▲10.6%）

2022年度→2023年度 -3,767 t（▲15.8%）

【組成調査から推定した燃やせるごみ・燃やせないごみに含まれる生ごみの推移】

ごみの種類		2019 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2025 (目標値)
燃やせるごみ・燃やせないごみ(t)		71,628	74,466	72,131	70,300	68,258	-
生ごみ	組成割合(%)	31.4%	31.8%	33.6%	33.9%	29.4%	-
	推定量(t)	22,457	23,712	24,206	23,834	20,067	-
	基準年度比(t)	-	-	1,750	1,378	-2,389	-2,000
	進捗度 (減量数/2,000t)	-	-	-87.5%	-68.9%	119.5%	100.0%
	進捗率	-	-	-87.5%	-68.9%	119.5%	100.0%
生ごみのうち 食品ロス							
組成割合(%)		14.0%	14.4%	15.5%	15.9%	14.5%	-
推定量(t)		10,058	10,721	11,208	11,179	9,931	8,058

◆主な増減要因◆

- ・燃やせるごみ・燃やせないごみの組成調査の結果では、生ごみのうち、食品ロス全体の量・割合は減少しました。ただし、そのうち手付かずのまま捨てられている生ごみの量・割合の増加傾向が続いています。

②容器包装プラスチックの量

（容器包装プラスチックの推移）

2019年度→2023年度 -225 t（▲1.7%）

2022年度→2023年度 +17 t（+0.1%）

【組成調査から推定した燃やせるごみ・燃やせないごみに含まれる容器包装プラスチックの推移】

ごみの種類		2019 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2025 (目標値)
燃やせるごみ・燃やせないごみ(t)		71,628	74,466	72,131	70,300	68,258	-
容器包装 プラスチック	組成割合(%)	18.4%	17.5%	15.8%	18.4%	19.0%	-
	推定量(t)	13,162	13,027	11,396	12,920	12,937	-
	基準年度比(t)	-	-	-1,765	-241	-225	-1,200
	進捗度 (減量数/1,200t)	-	-	147.1%	20.1%	18.8%	100.0%
	進捗率	-	-	147.1%	20.1%	18.8%	100.0%

◆主な増減要因◆

- ・燃やせるごみ・燃やせないごみの組成調査の結果では、軟質の容器包装プラスチック（商品の袋など）の割合が多く、増加傾向が続いています。

③古紙の量

（古紙（資源化できる紙類）の推移）

2019 年度→2023 年度 +786 t （+20.8％）

2022 年度→2023 年度 -162 t （▲3.4％）

【組成調査から推定した燃やせるごみ・燃やせないごみに含まれる古紙の推移】

ごみの種類		2019 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2025 (目標値)
燃やせるごみ・燃やせないごみ(t)		71,628	74,466	72,131	70,300	68,258	-
古紙 (資源化できる紙類)	組成割合(%)	5.3%	6.3%	5.0%	6.7%	6.7%	-
	推定量(t)	3,764	4,716	3,580	4,711	4,549	-
	基準年度比(t)	-	-	-184	947	786	-500
	進捗度 (減量数/500t)	-	-	36.8%	-189.5%	-157.1%	100.0%

◆主な増減要因◆

- ・燃やせるごみ・燃やせないごみの組成調査の結果では、古紙の割合は 2022 年度から増減はありませんでしたが、燃やせるごみ・燃やせないごみの量が減少しているため、燃やせるごみ・燃やせないごみに含まれる古紙の量は減少しています。

④事業系ごみの量

（事業系ごみの推移）

2019 年度→2023 年度 -1,945 t （▲10.1％）

2022 年度→2023 年度 -290 t （▲1.6％）

【事業系ごみの推移】

	2019 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2025 (目標値)
事業系ごみ(t)	19,315	16,816	17,116	17,660	17,370	18,315
基準年度比(t)	-	-	-2,199	-1,655	-1,945	-1,000
進捗度(減量数/1,000t)	-	-	219.9%	165.5%	194.5%	100.0%

◆主な増減要因◆

- ・月別で 2022 年度と比較すると、ほぼすべての月で減少しています。

⑤その他のごみの量（木・草類、繊維類、金属類、おむつ・衛生用品など）

（その他のごみの推移）

2019 年度→2023 年度 -1,293 t （▲3.6％）

2022 年度→2023 年度 +1,810 t （＋5.6％）

【その他のごみの推移】…家庭系ごみの合計から、生ごみ・古紙・容器包装プラスチックを除いたもの

	2019 (基準年)	2020	2021	2022	2023	2025 (目標値)
家庭系ごみの合計-①	74,994	77,903	75,772	73,975	71,872	
生ごみ・古紙・容器包装プラスチックの量-②	39,382	41,456	39,182	41,466	37,553	
その他ごみ(①-②)	35,612	36,447	36,590	32,509	34,319	
基準年度比	-	-	978	-3,103	-1,293	-1,500
進捗度(減量数/1500t)	-	-	-65.2%	206.9%	86.2%	100.0%

◆主な増減要因◆

- ・燃やせるごみ・燃やせないごみの組成調査の結果では、木・草類や金属類、おむつ等の品目の割合が増加しています。中でも増加率が高い紙おむつの割合は、2022 年度から 4.3％増加しています。
- ・燃やせるごみ・燃やせないごみの組成調査の結果では、小型家電や繊維類等の品目の割合が減少しています。中でも減少率が高い繊維類の割合は、2022 年度から 1.1％減少しています。